

# 太陽光パネル 無償設置

## 太陽光発電の第三者所有モデルの仕組み

大手電力会社 [北陸電力]



## サニーライブグループ

# 家庭 電気代節約 事業者 売電で収入

住宅関連事業のサニーライブグループ（高岡市能町）は、戸建て住宅に太陽光パネルを無償で設置するサービスに乗り出した。15年間はグループが設備を所有し、その後は契約家庭に譲り渡す。事業者側は売電による収入が得られ、家庭は電気代や設置費用を抑えられるメリットがある。太陽光発電の普及を後押しする新たな仕組みとして注目を集めそうだ。

（浜田泰輔）

サニーライブグループが住宅の屋根を借り、家主に代わって太陽光発電を手掛ける。契約を結んだ家庭は自宅の屋根で発電された電気を同グループから割安で購入。同グループは余った分を売電に回す。不足した場合は、家庭は大手電力会社から購入

する。

太陽光発電設備の「第三者所有モデル」と呼ばれる仕組みで、太平洋側では一般的になりつつある。日照時間が短い北陸では採算を取ることが難しく、参入する事業者は少ない。同グループによると、住宅向けのサービスを本格的に開始するのは北陸初という。

家庭にとっては月々の電気代を節約でき、15年後には設備が無料でもらえる利点がある。自宅で発電した電気を購入するため、大手電力会社の電気料金に含まれる「再生エネルギー賦課金」が加算されず、料金は割安になる。15年後を待たずに、経年分を差し引いた価格でパネルを買い取ることもできる。

## 新サービス 普及後押し

新築・既設は問わず、提携する住宅メーカーを通じてサービスを展開する。グループ企業の南陽吉久でも施工を手掛ける。

2018年の住宅・土地統計調査によると、県内の住宅の太陽光パネル設置率は3.3%で、全国（4.1%）を下回る。固定価格買い取り制度による売電価格の引き下げで、設置件数の伸びは鈍化している。

一方で、大規模な自然災害が相次ぐ中、非常用電源としての価値が改めて見直されている。同グループは「初期費用がネックとなって設置に二の足を踏んでいる家庭に新たな選択肢を示し、太陽光発電を普及させる起爆剤にしたい」としている。

太陽光発電設備の第三者所有サービスは、県内のエネルギー業界で広がっている。

日本海ガス（富山市城北町、土屋誠社長）は7月から、事業所向けに開始。第1弾として富山市内の民間事業所に32.34基の設備を

## 日本海ガスも開始

県内で広がる

取り付けた。同社は2021年に10件の設置を見込んでいる。事業所を対象にスタートし、家庭向けについては検討中という。

北陸電力はグループの第1次中期経営計画（2020年度版）で、太陽光発電設備の第三者所有サービスを盛り込んだ。顧客の敷地内にある施設屋上や遊休地を活用し、北電グループが所有する太陽光発電設備を置く。

富山フューチャー開発専務 角内 康彦氏



10月に開業20周年 ショッピングセンター運営会社で施設管理一員として、建設の「成長したアユが再び

愛され

## \* スポット

た。旧婦中町の住民でいた実態が分かって危険感があつた」SCオープンが中地域の人口は約20「テナント構成を絶り込んでいきたい」

## 景気2.0ポイント上昇

内閣府ウオッチャー調査

内閣府が8日発表した8月の景気ウオッチャー調査は、街角の景気実感を示す現状判断指数（季節調整値）が前月比2.8ポイント上昇の43.0となり、4カ月連続で改善した。新型コロナウイルスの感染者が減少傾向に転じ、外出自粛などの影響が和らいだとの見方が強かった。項目別では「家計」が2.0ポイント増の45.3、「企業」